

事業所における自己評価結果 (公表)

公表:令和 6年 6月 20日

事業所名 つくしんぼ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	13			適切である。	
	②	職員の配置数は適切である	13			適切である。	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	4		・トイレの手すりや段差にスロープがある。 ・不十分な部分には職員がサポートしている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	13			毎日打ち合わせと反省会を行い業務内容について職員間で共有している。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	13			つなげている。	
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12	1			ホームページで公開しているが、会報は無い。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	13			年5回の理事会及び総会にて業務報告を行い改善につなげている。	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	13			確保している。	
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	13			客観的に分析した上で計画を作成している。	
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12	1		日々の活動記録と、それをもとに考察された会議の記録を全員で共有している。	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	13			全体で話し合いながら行っている。	
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	13			新しいアイデアは全員が発言できる。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	13			長時間の活動はよりきめ細かな支援を行っている。	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	13			個々の状況に合わせて作成している。	
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	13			毎日必ず確認している。	
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13			毎日必ず行っている。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	13			日々の活動記録と、それをもとに考察された会議の記録を全員で共有し、改善につなげている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	13			行っている。	
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	13			行っている。	
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	13			そのようにしている。	
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の 連絡）を適切に行っている	13			行っている。	
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	5		現在医ケア児の利用 はないが、その際は 連絡体制を整える。	
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	12	1		資料等を見せていた だき務めている。	
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	12	1		必要に応じて行っ ている。	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	12	1		都度研修に参加可能 な者については参加 している。	
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	5	6	2	・コロナのこともあり 必要以上に外部施設 は利用していない。 ・姉妹兄弟との交流 の機会がある。	
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に 参加している	7	6		町田市には無いが、 他の協議会や団体 には参加している。	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	13			日頃より保護者と話 す時間を設け共通理 解につなげている。	
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	11	2		保護者が子どもの対 応に悩んだり困ったと きは、降所のお迎え 時や面談の場を持っ て支援している。	
保	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	13			行っている。	
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	13			行っている。	
	㉒	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	11	2		・行事など交流の場と してはいたが、コロナの 影響で難しくなった。 ・今は求めている 方も多いと感じる。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	13			体制を整備し、苦情があった際には適切に対応できるようにしている。	
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	5		会報は発行していないが、活動概要や予定などはメールや書面にて伝えている。	
	③⑤	個人情報に十分注意している	13			不要になった書類はシュレッダーにかけるなど、扱いには十分注意している。	
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	13			気を付けている。わかるように説明している。	
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	5	2	・行事の際は近隣の方を招待している。 ・コロナから機会が減っている。	
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13			周知しており、全スタッフや保護者が閲覧できるように置いている。	
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12	1		年に2回行うようにしている。	
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13			外部研修受講者が内部伝達研修を行い、全従業員が受講している。	
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13			了解を得たうえで計画に記載している。	
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13			事前に保護者に確認しており、対応できている。	
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12	1		事例集は常に確認でき、共有できている。	

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。